

令和 7 年度 学校経営計画書

学校番号	101	学校名	富士市立高等学校	校長名	櫻井 祥行
------	-----	-----	----------	-----	-------

1 目指す学校像

(1) 教育目標

自律する若者の育成

CDI 実現に向け、自然と地域を愛し、富士市や社会に貢献できる人材を輩出する。

- ・コミュニティ・ハイスクール

＝人との関わりを大切にし、地域社会で主体的に活躍する生徒を育てる。

- ・ドリカム・ハイスクール

＝人生の目標や夢を持ち、その実現に向けて挑戦する生徒を育てる。

- ・探究（インクワイアリー）・ハイスクール

＝探究の見方と考え方を働かせ、本質を追求し、課題を解決する生徒を育てる。

(2) 教育目標具現化の柱

ア 基本的生活習慣、社会人としての資質・能力を身に付けるため、授業や部活動、学校行事の充実を図り、「豊かな人間性」や「良好な人間関係」を育てる学校（**主体性、協働する力**）

イ キャリア教育を推進することにより、生徒が夢を持ち、「確かな学力」を身に付けることで、進路実現を支援する学校（**チャレンジ精神、実行力**）

ウ 魅力ある専門教育と学科の特色を活かし、教育課程の充実に努め、「主体的・対話的で深い学び」による「魅力ある授業」を展開できる学校（**論理的思考力、傾聴力、課題解決力**）

エ 家庭・PTA・地域と連携した教育活動を推進し、「社会に開かれた教育」を実現するとともに、保護者や地域から信頼される学校

オ 教育環境の整備・充実及び予算の適正かつ効率的な執行を目指す学校

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	生活習慣の確立	・日々の生徒との関わりを大切にする。 ・毎朝の校門・昇降口指導 ・毎朝の健康管理チェック（朝の健康観察の徹底・感染症対策）	・各学年、学期ごと朝読書に1度も遅刻しない生徒数 85%以上	生徒 保健環境 学年
ア	学校の安心安全	生命尊重の意識の高揚に努める。 ・交通安全教室の実施（年2回） ・朝の交通街頭指導の実施 ・委員会による交通街頭指導の実施（年5回） ・保健室・教育相談・生徒課情報交換会の実施 ・生徒の実態に即した保健講座の実施 ・「学校生活に関するアンケート」の実施（年2回） ・いじめ・体罰防止対策に努め、その兆候を見逃さない。（欠席理由の正確な把握といじめ案件に対する迅速な対応） ・面接週間の充実	・朝の交通街頭指導（年間150回以上）、自転車事故件数（昨年度より減） ・情報交換会を毎週1回実施 ・学年別に実施する保健講座後の意識向上率20% ・「学校に困ったことや悩み事を相談できる人がいる」生徒85% ・いじめを理由とする不登校、転退学者ゼロ ・体罰ゼロ ・面接週間を年2回以上実施	生徒 保健環境 教育相談 学年
ア	職員の健康増進	ワークライフバランスの観点から働き方改革の推進 ・定時退勤日での退庁推奨 ・部活動ガイドラインの趣旨を遵守し、部活動の計画的な活動及び休養日を設定する。 ・管理職による業務記録簿点検及び職員への声掛け	・週3回午後8時以降に残留する職員の減少	管理職
ア	学校未来プロジェクトの推進	・生徒会、部活動の活性化 ・各プロジェクト（学校改革・魅力化、I R推進、I C T推進、学力向上・進路実現、部活動活性化）の充実	・「学校行事・部活動に満足している」生徒90% ・海外探究研修の充実（生徒の満足度80%）	生徒 各プロジェクト 学科

様式第 1 号

イ	生徒の自主性・協調性及び目標に向かって挑戦する意欲と態度を育む	褒め、励まし、諭す指導と体系的なキャリア教育を推進する。 また、教員の進路指導力と進学体制の充実に努める。 ・効果的な面接の実施 ・キャリア教育の充実 ・大学模擬授業の実施や進路啓発の実施 ・進路実現に向けた集会の実施	・「自分の将来に対する、はっきりとした夢や希望を持っている」3年生 80% ・「学校での学びをきっかけに、さらに学びたいと思う」生徒 60% ・2年生進路未決定者 20%以下 ・3年生進学希望者向け集会を1、2学期に1回以上実施	キャリア支援 学年 学科
イ	高い志のもと進路実現のための進路啓発及び実績の向上	・進路啓発のための初期指導の強化 ・模試、共通テスト分析会の実施 ・校外模試、スタディサポート、学びみらいPASSの結果をリンクさせた進路設計 ・大学入学者選抜周知のための保護者ガイダンスの開催 ・資格取得の奨励 ・英語4技能評価に対応した指導方法の研究、実践	・1年生への進路啓発行事年2回以上 ・進学（四大100人以上）及び就職内定率(100%) ・検定を3科目以上合格して卒業する生徒 70% ・英語資格・検定試験の準2級以上の受験者 100人、合格率 40%	キャリア支援 学力向上・進路実現 教科
ウ	学習習慣の確立	・学習時間調査、Cラーニングの活用 ・計画的、効果的な課題の提示（学年の教務、教科担当等で調整）	・週に5日以上、家で勉強している生徒 60% ・平均 90 分以上家庭学習を行う生徒、各学年 50%以上	教務 学年 教科
ウ	魅力ある授業実践と授業力向上	・教員校内研修を活かし、分かりやすい授業と学力の定着を図る。 ・教員研修週間年2回 ・出張時における代講・授業振替の励行 ・アクティブラーニングの推進 ・観点別評価の実践および検証 ・ICTの活用と実践、推進 ・「学びみらいPASS」の活用 ・探究学習や特別活動及び部活動を通して、一人一人の資質や能力を最大限に伸ばせるよう支援する。	・80%以上の生徒が「授業に満足している」と答えた教員 80%以上 ・新教育課程の見直し ・新観点別評価の総括 ・「課題解決の道筋を予測し、課題を解決するための計画を立てることができる」生徒 75% ・探究学習（「ディベート」「市役所プラン」「自分スピーチ」及び教科「探究」）の充実	教務 企画研究 教育相談 教科 キャリア支援 学年 ICT推進 指導主事

エ	家庭・PTA組織・中学校・地域との連携	相互の信頼関係を構築し、社会総がかりの教育を目指す。 ・PTA後援会合同総会・懇談会の充実 ・産官学と連携した教育の実践 地域交流事業の主催・共催および地域活動への積極的な参加 <共催事業> ・NP0 法人富士スポーツクラブとの共催 『人工芝で遊ぼう』『多世代交流サッカー（毎月第2・4金曜日開催）』 ・富士市教育委員会 社会教育課との共催 『学校でEnglish体験』 ・NP0 法人静岡 FID サッカー連盟との共催 『Def（聴覚障がい者）キッズサッカー教室』 <地域活動への参加> ・清水エスパルス『ホームゲーム高校生コラボ企画』への参加（2021年、富士市とファミリータウンパートナーシップ協定締結） ・学校運営協議会の充実 ・HPの充実 ・学校見学会、相談会の開催（年12回） ・中学校訪問、中学校での学校説明会の実施 ・学校施設の適切な一般開放	・PTA後援会合同総会・懇談会の出席率 40% ・「本校が地域に開かれた学校と感じる」保護者 85% <地域交流の実績> 各部活動および本校生徒参加のボランティア活動など、地域交流の実績は年間 100 回以上。 令和5年度：107 回 実施 令和6年度：124 回 実施 ・「学校運営協議会の提言が学校運営に反映されている」と回答する委員 90% ・HP更新週 5 回以上 ・学校見学会に参加した中学生の満足度 90%以上 ・中学生への説明会での若手教員及び生徒の活用 ・体育館・グラウンドの一般開放 年間 200 日以上 ・庭球場の一般開放年間 180 日以上	総務 地域交流 キャリア 支援 情報図書 管理職 事務
---	----------------------------	--	--	--

様式第 1 号

オ	適正な事務の執行	・施設・設備の不具合個所の解消 ・省エネルギーの推進	・消防設備点検・建築物定期点検による指摘箇所の改善100%（既存不適格を除く） ・年間電気使用量を令和5年度比-40%削減 ・コピー機の利用枚数を前年度比減	事務
---	----------	--	--	----